

民主党さいたま市議会レポート

【桜区版】

10月号

編集・発行 阪本かつみ

民主党さいたま市議会議員団 桜区事務所

『議会改革』実現に向け活動中！

9月定例議会 決算特別委員会で質疑を行いました！

18年度さいたま市一般会計及び特別会計歳出歳入決算を審査する特別委員会が設置され、「建設局」「都市局」が所管する決算に対し、それぞれ42分間の質疑を行いました。もうすでに終わったこととはいえ、各事業が適正かつ効率的に行われたのか。その成果はどうだったのか。そして、今後の取り組状況などについて質問をさせていただきました。

主な質疑の内容

都市局関係

- まちづくり広報誌発行事業について
- マンション建設におけるルール作りについて
- 都市計画道路の見直しについて
- ドッグランの整備について
- 都市公園の整備・維持管理について
- 緑の基本計画作成委託業務について
- 河川を活かしたまちづくりについて
- 放置自転車対策事業について

建設局関係

- 土木・営繕積算システムについて
- 道路台帳整備について
- 公共工事コスト縮減対策について
- 道路・歩道整備事業について
- 市営住宅のあり方について

など



決算特別委員会で質疑

阪本かつみ 市議

民主党さいたま市議会議員団 桜区事務所〔 阪本かつみ事務所 〕

〒38-0836 さいたま市桜区町谷 3-24-15 TLE 048-710-4022 FAX 048-710-4023

E-mail sakamoto-k@kfx.biglobe.ne.jp

「阪本かつみホームページ」 <http://www7a.biglobe.ne.jp/~sakamoto-k>

都市計画道路の見直しについて

さいたま市「総合都市交通体系マスタープラン基本計画」に基づき、「公共交通ネットワーク基本計画」が18年7月に制定されました。

その中で位置付けられた整備方針のうち「東西方向の幹線公共交通軸は最も重要かつ緊急性が高い」とされている。

それに伴い、短期的整備プログラムが作成され、バス優先レーンの導入などの計画が示されていますが、この中には肝心の道路整備のことが示されていない。

本市の都市計画道路については、平成18年3月現在で163路線、391.5kmを都市計画決定し、決定から20年以上経過している路線が約80%を占めている。そして、その大部分が長期未整備となっている現状です。

本市の道路整備率は、平成17年度現在で県道は31.1%、都市計画道路の整備率は41%、他の政令市と比較してももっとも低い水準です。

今後どのように「都市計画道路」の整備を進めて行くのか、お尋ねします。

A.

本市の道路整備については、その事業の必要性、整備時間、及び優先順位を明らかにし、今後10年間の道路整備プログラムの策定を検討しているところです。今までの優先順位といたしましては、広域交流を支える高規格道路の整備を中心に都心間、地域間を結ぶ道路を重点的に進めているところです。



市営住宅のについて

今後、超高齢化社会の到来に伴い、世帯類型にも変化がおり、独居老人や独身者の世帯等の「単独世帯」が「夫婦と子からなる世帯」の数を超え、それに対応できる都市づくりが必要不可欠になってくると思います。

そのよう中、今後の市営住宅のあり方、考え方についてお伺いします。

A.

高齢化社会対応型ということで、バリアフリー化を基本的に考えております。

また、単身者向けの住戸も増やしていきたいと考えています。

ちなみに、今建設中の春野住宅は178戸になりますが、高齢単身者用として60数戸を予定しております。